

和牛産肉能力直接検定成績 (1999年度)

真喜志修 棚原武毅 千葉好夫

I 緒 言

沖縄県畜産試験場では、種雄牛候補牛の産肉能力評価のため、和牛種雄牛産肉能力検定（直接法）を実施している。そこで、1999年4月から2000年3月までに和牛種雄牛産肉能力検定（直接法）を終了した牛の成績について取りまとめたので報告する。

II 検定牛および検定方法

検定牛は、肉用牛群改良基地育成事業に基づき、認定された雌牛に計画交配し、生産された子牛のうち、産子調査により選抜された13頭の雄子牛である。

検定牛の概要を表1に示した。検定牛の父と母の父の組み合わせでは、第7糸桜系×第7糸桜系が4頭、第7糸桜系×晴美系が2頭、第7糸桜系×田尻系が1頭、気高系×第7糸桜系が3頭、田尻系×田尻系が2頭、晴美系×第7糸桜系が1頭であった。

検定方法は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定法¹⁾（直接法）により実施した。直接法とは、7から8カ月齢の雄子牛を単房式牛房にて112日間飼養し、その期間濃厚飼料は朝夕2回の時間制限給餌、粗飼料は乾草を不断給餌し、増体量や飼料要求率等を調査するものである。

表1 検定牛の概要

No.	名 号	生年月日	血		統		生産地
			父	母	母方祖父	母方曾祖父	
1	平 茂 晴	'98. 5. 29	平 茂 勝	し ず か	富 士 晴	第6土井の9	今帰仁村
2	栄 光	'98. 5. 5	北国7の8	は る な	晴 姫	安波土井	伊江村
3	美 穂	'98. 5. 4	北国7の8	は つ み	糸 富 士	安波土井	城辺町
4	勝 賢	'98. 8. 6	北国7の8	は る	晴 姫	糸 富 士	石垣市
5	糸 光	'98. 8. 1	姫 桜	第10かめしま	糸 松	糸 富 士	仲里村
6	茂 晴 花	'98. 7. 25	平 茂 勝	し ず か	富 士 晴	第6土井の9	今帰仁村
7	富 士 平	'98. 9. 28	平 茂 勝	み の る	富 士 晴	福 岩 田	今帰仁村
8	金 安 波	'98. 9. 19	金 鶴	も り か つ	安波土井	糸 富 士	石垣市
9	美 知 代	'98. 10. 30	金 鶴	お し ん	安波土井	本 金	伊江村
10	武 島	'98. 10. 10	北国7の8	は く あり	安福165の9	安波土井	平良市
11	糸 初 美	'99. 2. 12	糸 晴 美	は つ ひ め	糸 福	平 茂 金	石垣市
12	糸 正 国	'99. 1. 7	北国7の8	ま さ い と	糸 福	金 福 3	石垣市
13	北 恵	'99. 3. 26	北国7の8	あ さ こ	山 桜	富 士 晴	今帰仁村

Ⅲ 検 定 成 績

検定成績は、表2および表3に示すとおりである。各調査項目の平均値は、開始時日齢238.4日、開始時体重242.2kg、終了時体重367.7kg、180日補正体重192.7kg、365日補正体重385.1kg、DG1.13kg、粗飼料摂取率48.3%、各飼料要求率は濃厚飼料3.39、粗飼料3.18、DCP0.48、TDN3.75である。

DGについては、平茂晴の1.28kg、茂晴花の1.23kg、金安波の1.21kgおよび勝賢の1.20kg武島の1.20kgが優れている。

365日補正体重については、勝賢の442.2kgが最も優れており、富士平の351.3kgが最も劣っている。

飼料要求率 (TDN) については、平茂晴および栄光の3.49が最も優れ、4.42の美穂が最も劣っている。

13頭の平均値を1998年度の全国平均値²⁾と比較すると、DGは劣っているが、飼料要求率 (DCP、TDN) は優れている。

表2 検定成績

No.	名 号	開始日齢	体 重				DG (kg)
			開始時	終了時	180日補正	365日補正	
1	平 茂 晴	230	225	368	182.8	397.4	1.28
2	栄 光	254	230	362	178.0	362.0	1.18
3	美 穂	255	305	424	224.4	408.3	1.06
4	勝 賢	232	283	417	232.5	442.2	1.20
5	糸 光	237	254	370	200.4	386.6	1.04
6	茂 晴 花	244	232	370	179.0	381.1	1.23
7	富 士 平	225	210	323	174.0	351.3	1.01
8	金 安 波	234	218	354	174.8	377.0	1.21
9	美 知 代	231	266	389	219.1	413.2	1.10
10	武 島	251	263	397	197.4	399.4	1.20
11	糸 初 美	206	211	326	196.0	374.4	1.03
12	糸 正 国	242	220	341	174.6	352.9	1.08
13	北 恵	258	232	339	172.5	360.1	1.11
	平 均 値	238.4	242.2	367.7	192.7	385.1	1.13
	標 準 偏 差	14.5	29.6	32.2	21.0	26.6	0.09
	全 国 平 均 値	—	—	—	—	—	1.17

注) 全国平均は1998年度 (366頭) の平均値

表3 検定成績

No.	名号	粗飼料摂取率 (%)	飼料要求率				体型評点	備考
			濃厚飼料	粗飼料	DCP	TDN		
1	平茂晴	46	3.27	2.77	0.45	3.49	82.0	○
2	栄光	46	3.27	2.76	0.45	3.49	80.8	
3	美穂	49	3.95	3.82	0.57	4.42	82.8	
4	勝賢	47	3.42	3.07	0.48	3.73	81.7	○
5	糸光	48	3.72	3.43	0.53	4.09	80.5	
6	茂晴花	49	3.17	3.07	0.45	3.55	82.0	○
7	富士平	51	3.46	3.58	0.51	3.96	81.8	○
8	金安波	50	3.20	3.15	0.46	3.60	81.1	○
9	美知代	45	3.50	2.81	0.48	3.68	82.2	
10	武島	46	3.25	2.82	0.45	3.50	81.1	◎
11	糸初美	51	3.20	3.28	0.47	3.65	81.1	
12	糸正国	49	3.22	3.15	0.46	3.62	81.2	
13	北恵	51	3.41	3.61	0.50	3.94	80.9	
平均値		48.3	3.39	3.18	0.48	3.75	81.4	
標準偏差		2.1	0.23	0.35	0.04	0.28	0.71	
全国平均		—	—	—	0.57	4.42	—	

注) 全国平均は1998年度(366頭)の平均値

◎は産肉能力検定(間接法)選抜牛 ○は産肉能力検定候補選抜牛

これらの検定牛の中から母牛の育種価および選抜基準³⁾(DG1.20kg以上または365日補正体重430kg以上)に基づき平茂晴、勝賢、茂晴花、富士平、金安波、武島の6頭を選抜した。

これら選抜牛のうち、武島に関しては、平成11年度第3回沖縄県肉用牛改良増殖対策推進会議専門委員会において和牛種雄牛産肉能力検定(間接法)実施牛として選抜され、平茂晴、勝賢、茂晴花、富士平、金安波は選抜されなかった。

IV 引用文献

- 1) 社団法人全国和牛登録協会、1993、和牛登録事務必携
- 2) 社団法人全国和牛登録協会、1999、和牛種雄牛産肉能力検定成績
- 3) 沖縄県農林水産部、1988、沖縄県肉用牛群改良基地育成事業実施細則

検定補助：与那嶺久、赤嶺圭作